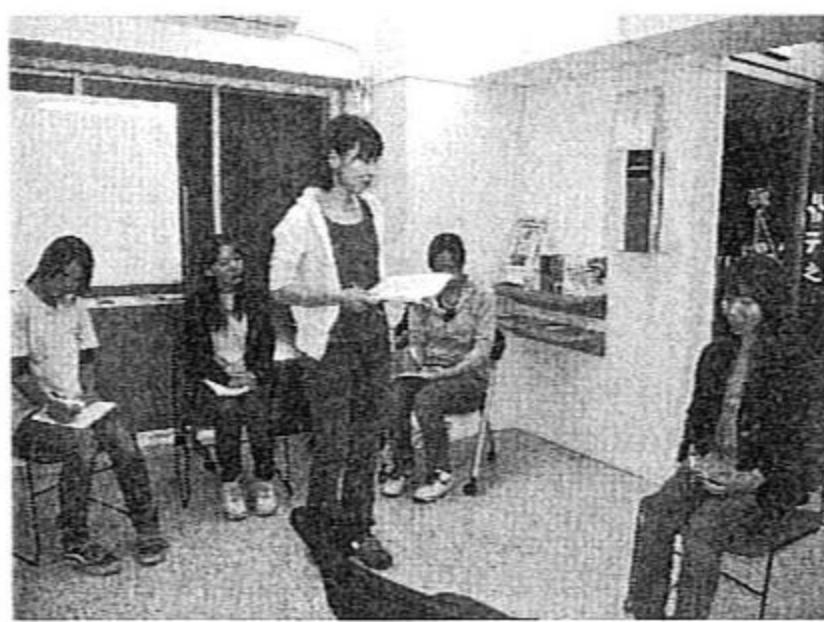


手を中心には、相手に感謝する  
「コミュニケーション」に関する  
テーマが多く、取材当日は心理学  
の手法を取り入れた「相手に感謝を  
伝える練習」だつた。「○○さんと  
いるどんなん気分ですか」「相手に  
伝えたいことをお話し下さい」  
「相手の立場に立って自分にメッセージ  
を伝えてください」――。

同社が2年前から始めている  
「はっぴートレーニング」は、月に  
3回程度、中堅職員が持ちまわり  
で講師や司会を担当しながら、若  
手を中心に3~4人が参加する小  
規模な研修だ。少人数で頻回に行  
われるため、その時々の必要性に  
合わせて柔軟に、テーマや参加者  
を決めていくことができる。

主体性を引き出しながら  
ポジティブな雰囲気をつくる



チーフ・ヘルパーの櫻井さん(中央)に促されながら、相手への感謝の気持ちを整理していく滝島さん(右)

さるに同社では、営業活動も兼ねたユニークな研修として、「コンセプトムービー」作成を行っている。ウインドウズなどの動画作成ソフトを使用して、「仕事を始めたら何をする?」や「自分のめざす介護」と思い出の写真やイメージ画像、好きな曲と組み合わせながら、柔軟な研修を行っている。

「コンセプトムービー」作成で  
仕事の魅力と目標を再確認  
「職員の主体性は尊重しますが、任せすぎは禁物。愚痴や遊びになってしまわないよう、ある程度トップが助言していく必要があります」と指摘する。

## 持ちまわり研修・動画作成研修

株式会社はっぴーライフ

# 少人数・頻回の研修開催で 多様なテーマを取り上げる

モチベーションが上がる要因や下がる要因は人それぞれあります。一通り終わると、全員で感想を述べ合う。話し合いで本音の部分を引き出しながらも、最終的にはポジティブな感情になるよう配慮しているそうだ。

このほか、多義图形(だまし絵)を使った心理テストや、居酒屋など異業種の見学、ヒット商品が売れる要因の考察など、内容は多岐にわたる。職員のやりたいテーマを採用し、職員自身に講師や司会を任せることで、モチベーションアップにつながっているという。

ただし、持ちまわり研修の注意点として、辻川泰史代表取締役は、「職員の主体性は尊重しますが、任せすぎは禁物。愚痴や遊びになってしまわないよう、ある程度トップが助言していく必要があります」と指摘する。

## 職員自身がテーマを考える 持ちまわり研修・動画作成研修

状況ニーズ  
モチベーションを  
上げたい  
個別の課題が  
たくさんある



作成した職員のコンセプトムービーは、同社ホームページ(<http://www.hl-tokyo.com/>)に掲載している

「それぞのめざす方向性を明確にしたうえで、やりたい研修をやることが、職員の仕事への満足度にもつながっていると思います」  
(辻川代表取締役)

今年5月末に入社した滝島未穂さんは、「素材集めや文章作成、コマ割りなど、作業は大変でしたが、人に思いを伝えるいい練習になりました。動画作成を通じて、この仕事の楽しさと自分の目標を再確認できました」と話す。動画はホームページなどで公開しており、利用者家族や友人のほか関係者以外の人からも「感動した」というコメントが届くという。